

【安全な服装】

作業を行う際は、作業に合った服を着用のうえ、保護帽や安全靴を必ず着用して下さい。
作業環境によっては保護眼鏡、防塵マスク、防音具、革手袋、安全帯などの保護具を着用して下さい。

【作業開始前点検】

作業を行う前には機体やアタッチメントの作業開始前点検を必ず行ってください。

【運転室内のご注意】

- ・ 運手室に入る前には、靴底の泥や油脂類を除去してから搭乗して下さい。付着したまま操作を行うと足が滑り思わぬ事故を引き起こす危険性があります
- ・ 運転席周辺には工具や空き缶などを放置しないで下さい。ペダルの下に入り込んだ場合、思わぬ事故を引き起こす危険性があります
- ・ 運転席は運転者の体格や作業内容に合わせて調整を行ってください。正しく調整をしていない場合、とっさの場合、回避行動がとれずに思わぬ事故を引き起こす危険性があります。
- ・ 機体が転倒すると、キャブ内で強打したり機体の下敷きになることがあるので、必ずシートベルトを着用して下さい

【操作上のご注意】

- ・ 機械を動かすとき、機械の周辺には常に危険が存在すると考えて運転してください。

【エンジン始動に関するご注意】

- ・ 操作レバーが中立になっているか、安全レバーが保持されているかを確認してください。
- ・ 必ず運転席に着座をしてエンジンを始動してください。運転席以外での始動は万が一に衣類などが操作レバーに引っかかった際、機械が動き出し大変危険です。

【運転者以外の搭乗禁止】

- ・ 運転者以外の搭乗者は、障害物にぶつかったり機械から投げ出されることがあり大変危険です。また運転者の視界を妨げる恐れもありますので、絶対に行わないようにしてください。

【作業について】

- ・ 作業範囲や旋回範囲、また移動範囲内には人が立ち入らないよう措置を行ってください。
- ・ 凍った地盤ではスリップをしたり、気温上昇とともに地盤が軟弱となり危険な状態となる場合があります

【走行時のご注意】

- ・ 走行方向を確認してください。走行は、油圧モーターが付いている側が後部となります
- ・ 傾斜地を走行する場合はスリップや転倒の恐れがあります。走行する場合は、アームを伸ばし、マグネットを地上200~300mmの高さに保持してください
- ・ 機体が滑ったり不安定になった場合は、すぐにバケットを接地し、走行停止してください
- ・ 視界が悪い場合は、合図・誘導者をおいて下さい

【作業に関してのご注意】

- ・ 吸着した物の付近には絶対に近付かないで下さい。万が一に落下をした場合は大変危険です。
- ・ マグネットは強力な磁力を発生しますので、磁気カードなどを近付けないで下さい。また、ペースメーカーなどの治療具をご使用の方は近付かないようにしてください。
- ・ 送電線に注意してください。送電線に接近をすると感電し、重大な事故につながる場合があります。送電線の付近で作業を行う場合、次の距離以内には絶対に本機を近付けないで下さい

カンタン計算式 $3m + \text{ガイシ長さの2倍}$

- ・ 自動車や冷蔵庫のように、鉄板の厚みが極端に薄いものは吸着しにくいので、吊上げる際はご注意ください

